

第1回イノベータ講演会（1学年）

4月21日（金）に共愛学園前橋国際大学学長の大森昭生先生を講師に迎え、「答えがないから面白い～課題研究の意義と進め方～」と題して講演会を実施しました。1年生にとっては初めての挑戦となる課題研究について、その意義や研究の進め方などを具体的かつ丁寧に説明していただきました。

Society5.0に突入する予測困難な時代に活躍できる力を身につけるために、答えがない課題に主体的かつ協働的に取り組み、解決のための手段や方法を思考していくことの大切さが伝わりました。

講演後の質疑応答は大変活発に行われ、有意義なものとなりました。

先輩講演会（2学年文系）

4月25日（火）に先輩講演会を実施しました。こちらは2学年文系の生徒が、科学探究Ⅰ・Ⅱ類について、昨年度に実際に取り組んだ3学年文系の先輩6名から話をしてもらいました。

講演会の前半では、昨年度の課題研究で優秀賞を受賞した22班の小暮明日夢君（3年1組）と河野柊君（3年3組）が「めぶくID」を用いた教育プラン」というテーマ研究について説明してくれました。

講演会の後半では、研究を進めるうえで重要なポイントについて、3年生6名が自らの考えや体験を分かりやすく紹介しました。「自分が興味関心を持てるものをテーマに設定するとよい」、「早めに外部機関とつながること」、「グループ内では仕事分担を明確に」、「自分たちの研究を継承してほしい」といった具体的なアドバイスがあり、先輩の意見を直接聞くことのできる貴重な講演会となりました。



◇講演を行った3年生と研究テーマを紹介します。

3年2組田中幸太郎君 「Mebuku Youth Fes. ～若者よ、音楽フェスで商店街に集え～」

3年2組古橋優大君 「スケボーの体験イベントで地方創生を目指す！」

3年3組石関弘晃君 「「やさしい日本語」が導く国際都市前橋」

3年2組齊藤諒佑君 「地方創生×eスポーツ CROSS-E 高校生による、地方活性化プロジェクト」

3年1組小暮明日夢君 3年3組河野柊君「めぶくID」を用いた教育プラン」

昨年度、開発した教材・評価法等を Web 掲載しました！

昨年度、本校のSSHで開発したクロスカリキュラムの授業実践の指導案や授業プリント、課題研究の評価ルーブリックや自己調整学習者のレジユメなどを本校のホームページに掲載しました。中学・高校で活用ください。また、中学生、高校生のみならずも是非取り組んでみてください。詳しくは、同じくホームページに掲載されている最新の報告書をご覧ください。 <https://maebashi-hs.gsn.ed.jp>

